

美作市タクシー利用補助についてのアンケート

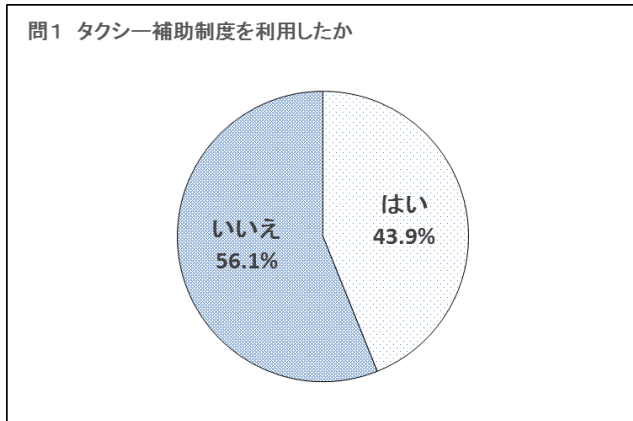
報 告 書

平成30年3月

美 作 市

1 調査結果

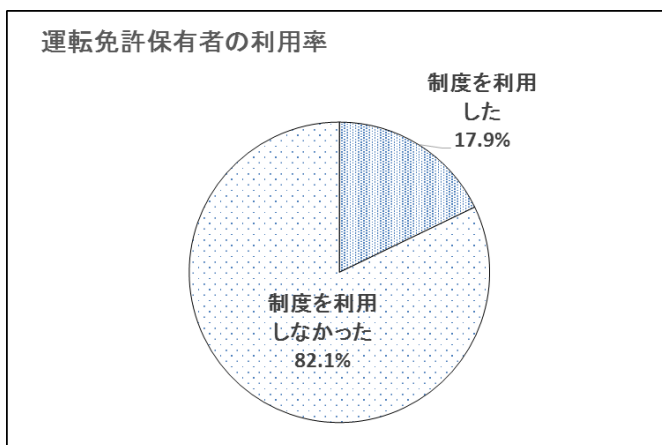
問1 あなたはタクシー補助を使ってタクシーに乗りましたか？



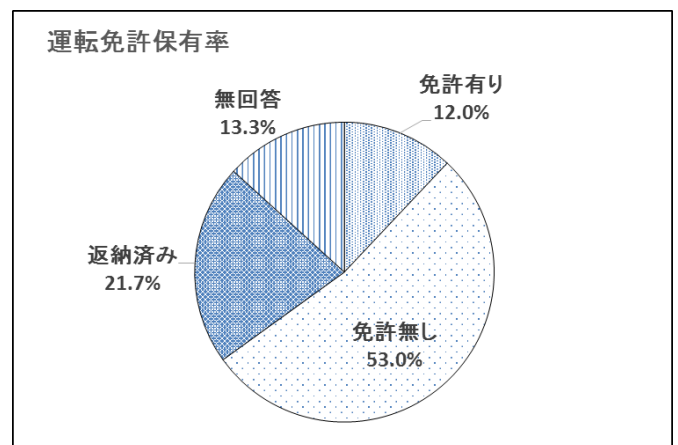
居住地区ごとの利用率

利用率(居住地区ごと)	居住地区							
	無回答	江見中部	江見東部	江見西部	豊野	粟井	吉野	合計
利用した	9	21	8	19	11	6	9	83
利用しなかった	9	10		9	11	17	50	106
合計	18	31	8	28	22	23	59	189
利用率	50.0%	67.7%	100.0%	67.9%	50.0%	26.1%	15.3%	43.9%

(図1) 運転免許を保有している人が
タクシー補助制度を利用した割合



(図2) タクシー補助制度を利用した人が
運転免許を保有している割合

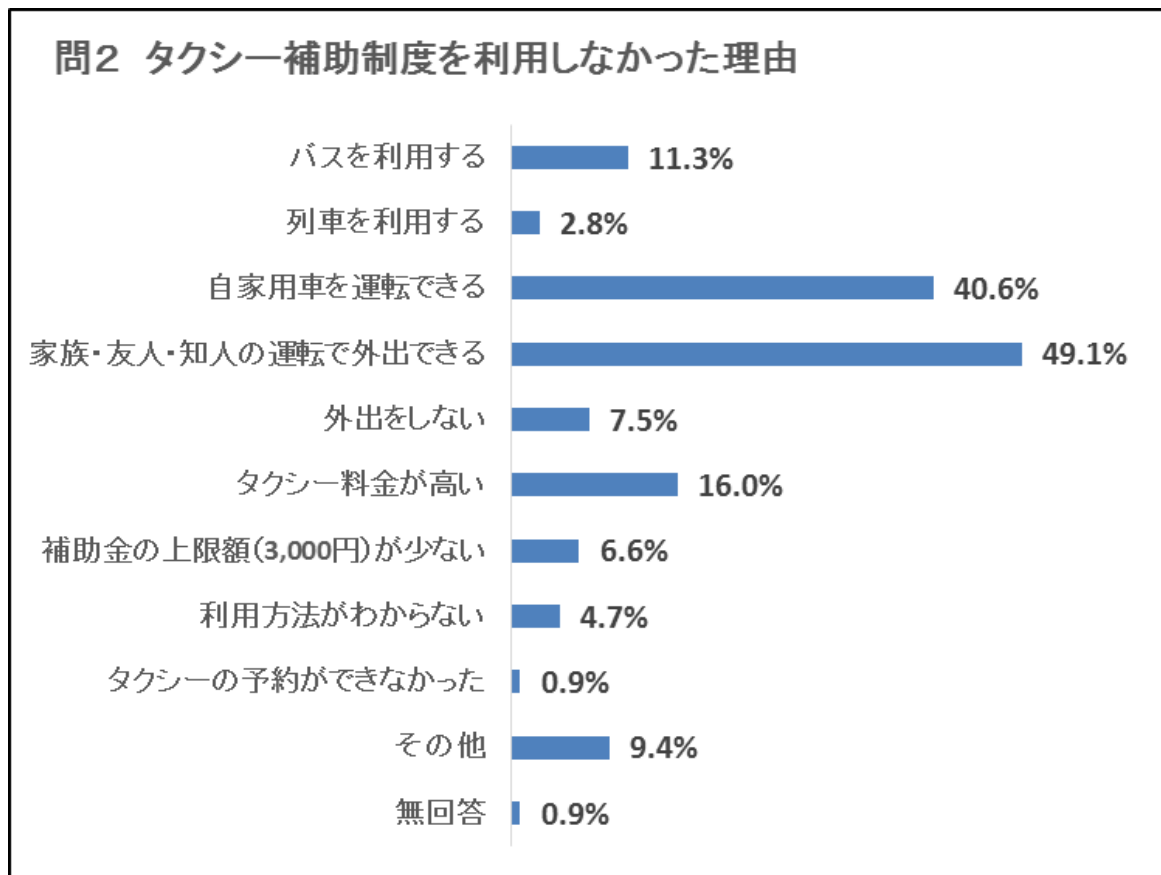


利用者証の交付を受けた方のうち、実際にタクシー補助を利用したのは、4割程度の方でした。そこで、運転免許を保有している人のタクシー補助利用率を調べたところ、運転免許を保有している人のうち8割の人が、利用者証を持っていても制度を利用していないということが分かりました。(図1) さらに、タクシー補助制度を利用した人の免許保有率を調べたところ、「免許無し」と「返納済み」と答えた方の合計が74.7%という結果となりました。(図2)

これらのことから、自動車を運転できる方は、タクシー補助制度をあまり利用していないということが分かりました。また、自由記述で意見を求めたところ、「今は運転できるので制度を使っていないが、いずれ運転できなくなったら制度を使いたい」という意見が複数ありました。

問2 タクシー補助を使わなかった理由を教えてください（複数回答可）

（問1で「いいえ」を選んだ方のみ）



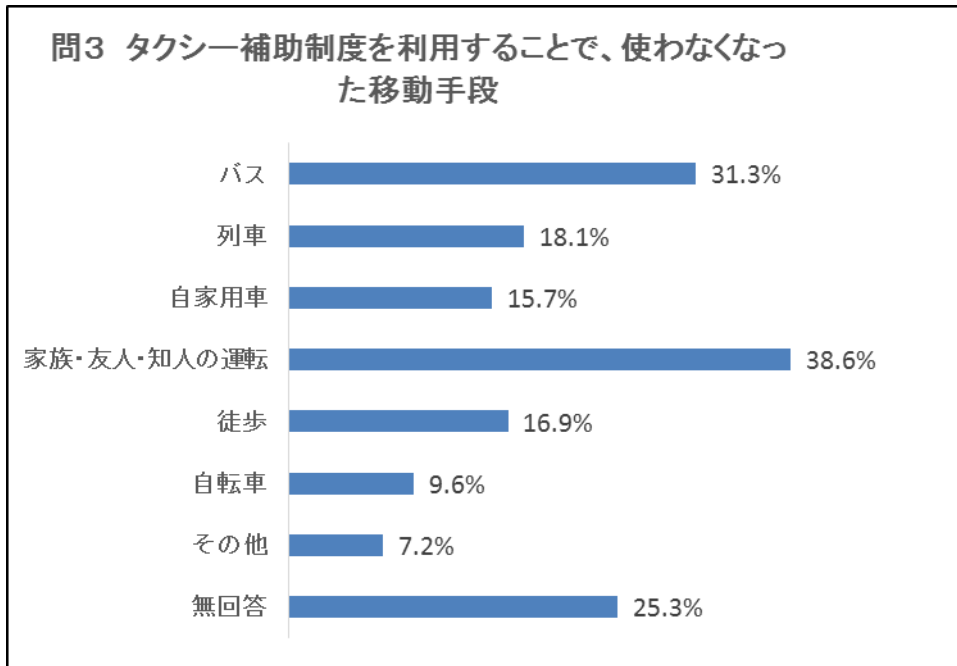
タクシー補助を使わなかった理由としては、「家族・友人・知人の運転で外出できるから」という回答が最も多く、49.1%という結果でした。次に「自家用車を運転して外出できるから」というものが40.6%で2番目に多い回答でした。

これらの結果から、自分もしくは身近な人の運転で外出できるうちは、タクシー補助を使う可能性は低いということが分かりました。

また、タクシー料金が高額であること（16.0%）や、バスを利用できるという理由（11.3%）によって、タクシー補助を使わない方が一定数おられるということも分かりました。

問3 タクシー補助を利用することで使わなくなった移動手段（複数回答可）

（問1で「はい」を選んだ方のみ）

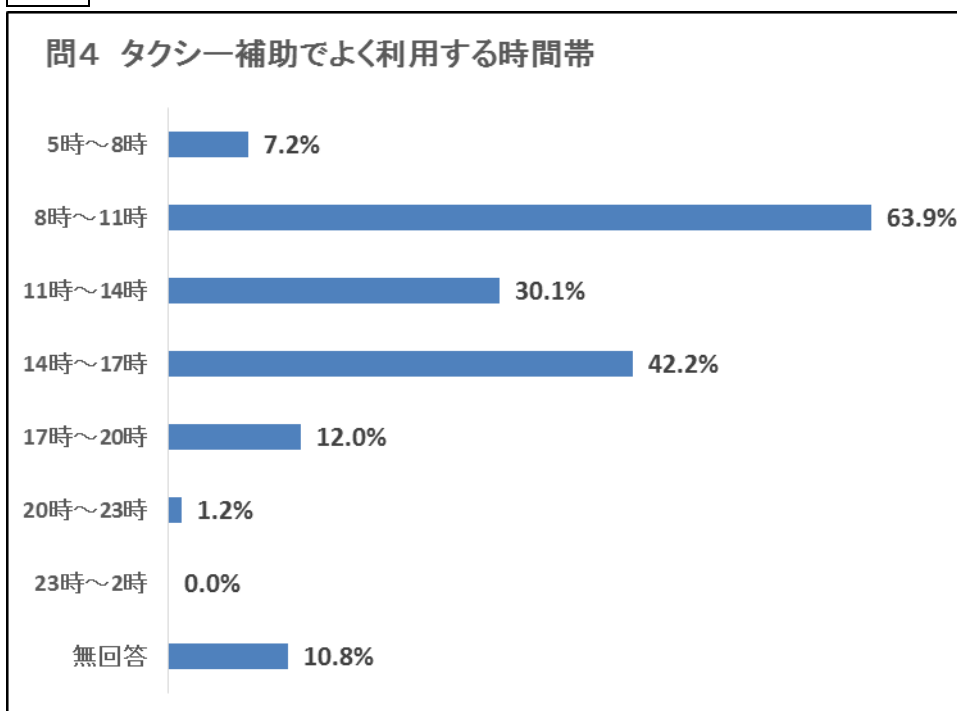


いままで使っていた移動手段のうち、タクシー補助制度の登場で使われなくなったものとして、「家族・友人・知人の運転」が38.6%と最も多く、次に「バス」の31.3%でした。

「家族・友人・知人の運転」については、問2の「タクシー補助を使わなかった理由」でも一番多く回答されていましたが、これは、高齢者に代表される移動困難者が、身近な人の支援によって移動するケースが多いということを示していると思われます。

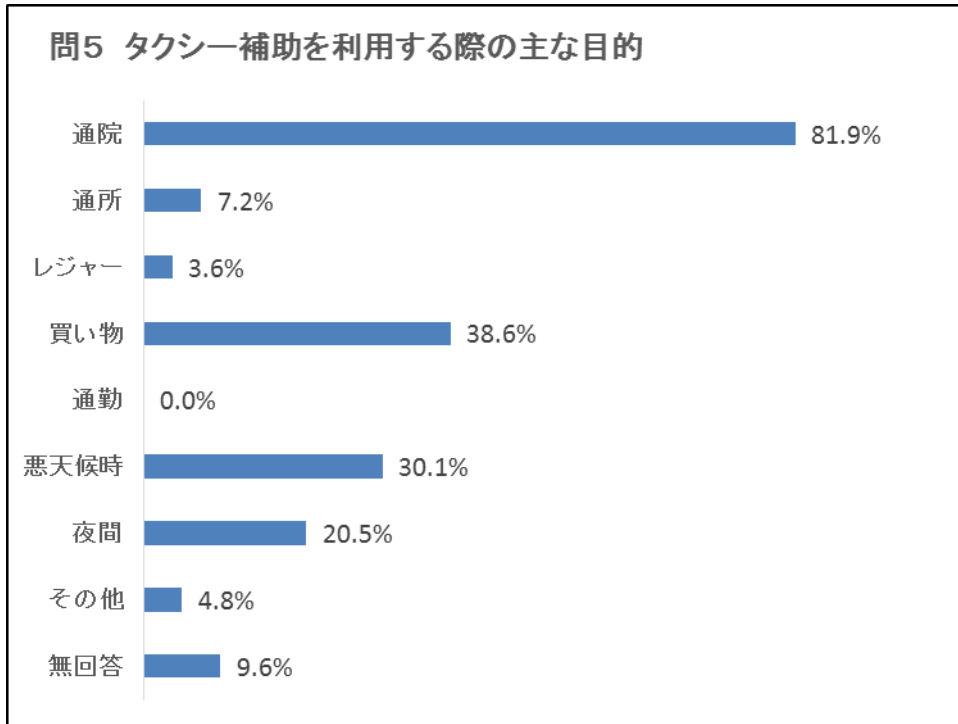
また、タクシー補助制度を利用した人の約3分の1の方が、「バス」という移動手段を使わなくなったということも分かりました。

問4 タクシー補助をよく利用する時間帯（複数回答可）



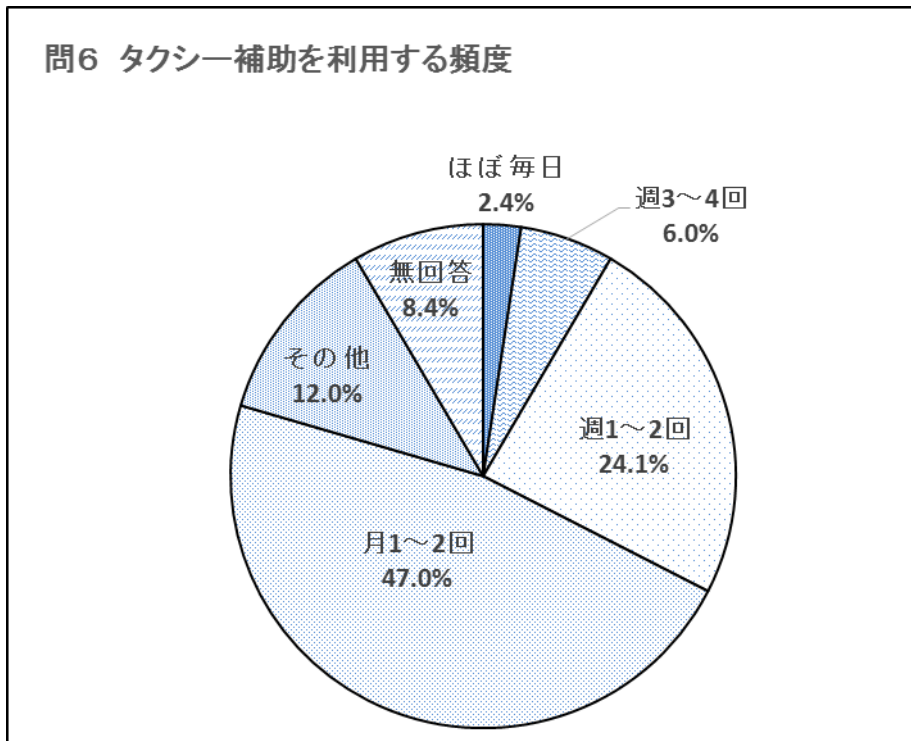
利用者が移動する時間帯としては、「8時～11時」が最も多く、次に「14時～17時」です。これらの結果は、次の問5の回答とも大いに関係していると思われます。

問5 主にどのような目的でタクシー補助を利用しますか（複数回答可）



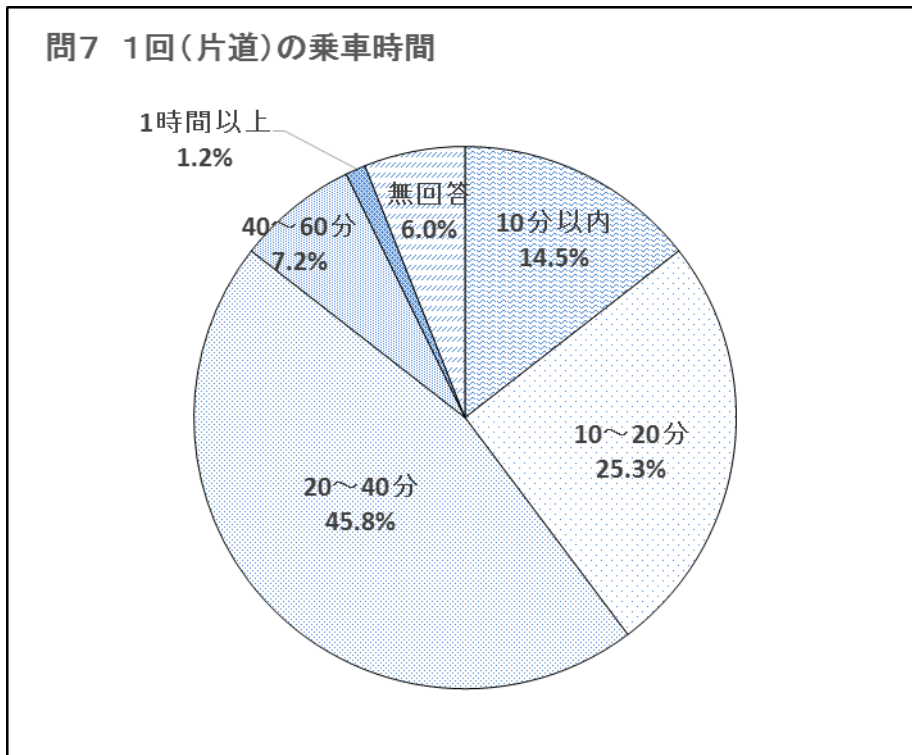
「通院」という回答が最も多く、回答者の約8割の方が、通院のためにタクシー補助を使っていると回答しています。次に多いのが「買い物」の38.6%です。

問6 どの位の頻度でタクシー補助を利用しますか（回答は1つ）



半数近い方が「月に1~2回」と回答していますが、これは、問5の回答結果とあわせて考えると、通院の周期が2週間に1回程度の方が多いためと思われます。また、「週1~2回」が24.1%、「週3~4回」が6.0%となっており、「ほぼ毎日」の2.4%をあわせると約3分の1の方が一週間に複数回利用しているということが分かりました。

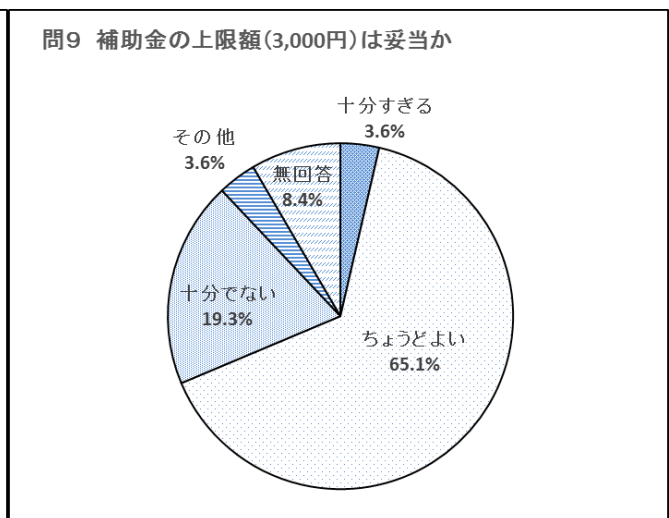
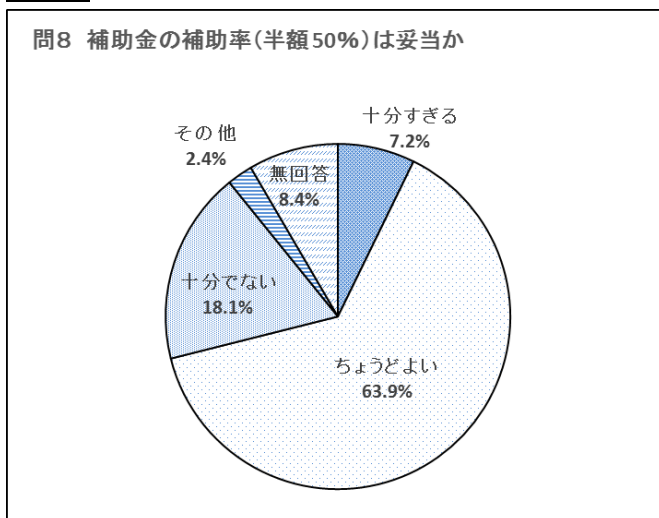
問7 一回（片道）の乗車時間はどの位ですか（回答は1つ）



片道「20～40分」かけて移動している方が最も多く、45.8%となっています。また、20分以内の移動に利用している方も4割程度おられます。

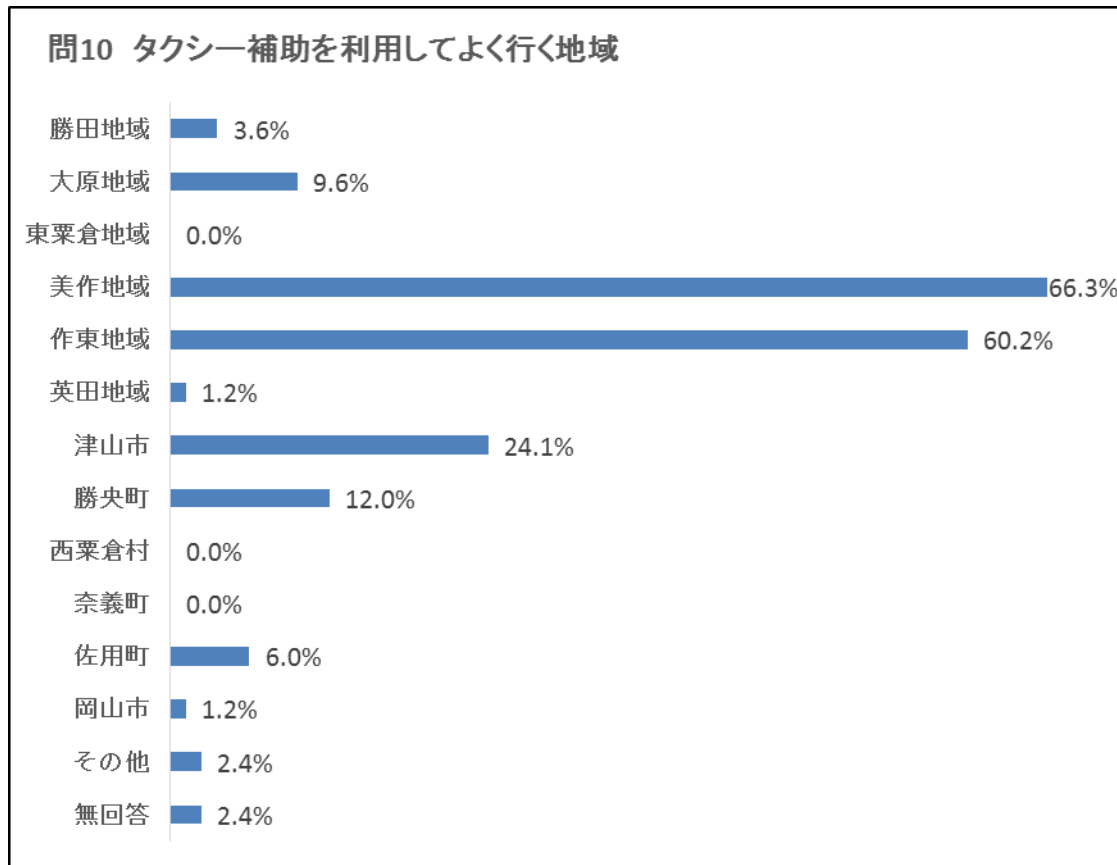
問8 現在の補助金の補助率（半額 50%）は妥当だと思いますか（回答は1つ）

問9 現在の補助金の上限額（3,000円）は妥当だと思いますか（回答は1つ）



問8の補助率 **問9**の上限額 どちらの回答についても、「十分すぎる」と「ちょうどよい」という回答を合わせたところ 70%程度となり、利用者の多くがタクシー補助制度の補助金額に満足しているということが分かりました。

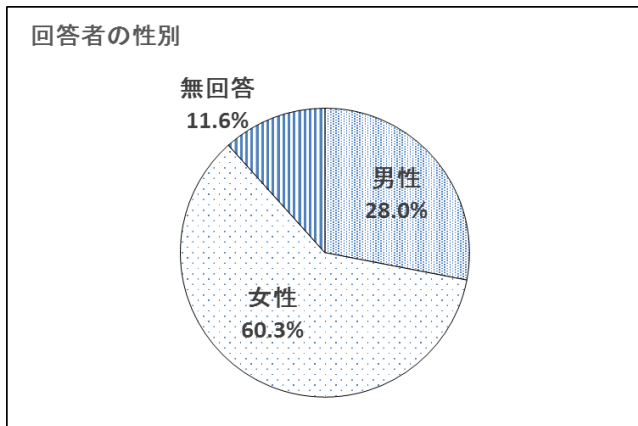
問 10 タクシー補助を利用してよく行く地域（複数回答可）



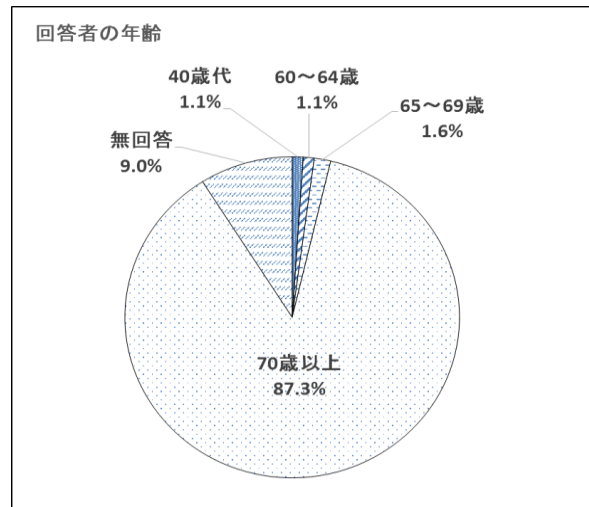
今回のアンケート対象である作東地域（土居・福山地域除く）からどの地域にタクシーで移動しているかについていえば、美作地域への移動が 66.3%で最も多く、次いで作東地域内での移動の 60.2%でした。

2 調査対象の概要

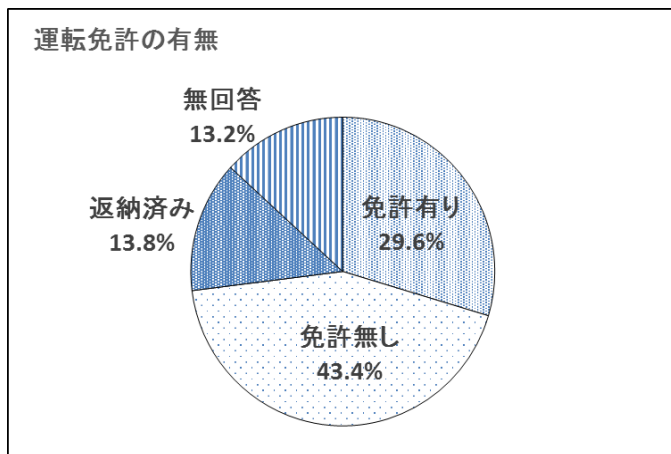
性別



年齢



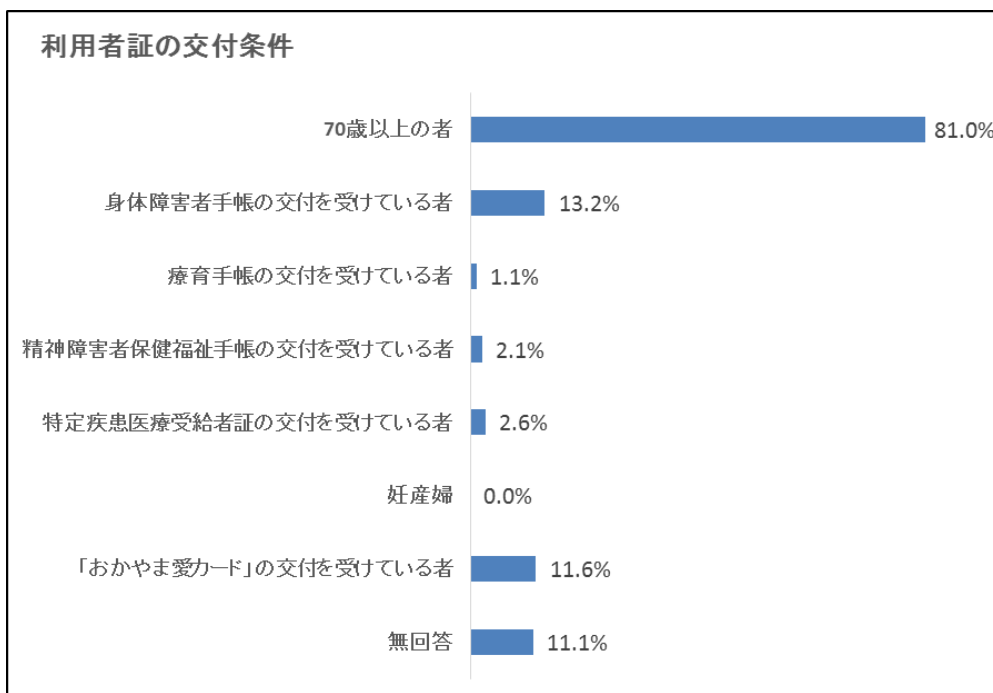
運転免許の有無



回答者の居住地区

回答者の居住地区		
江見中部	31	16.4%
江見東部	8	4.2%
江見西部	28	14.8%
豊野	22	11.6%
粟井	23	12.2%
吉野	59	31.2%
無回答	18	9.5%
合計	189	100.0%

利用者証の交付条件



3 本調査の概要

1. 調査の目的

タクシー利用補助制度の導入に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- | | |
|--------------|-----------------------|
| (1) 調査地域 | 美作市 作東地域（土居・福山地区除く） |
| (2) 調査対象 | 美作市タクシー利用者証の発行を受けられた方 |
| (3) サンプルング方式 | 全数調査 |
| (4) 調査方法 | 郵送による配付、回収 |
| (5) 調査期間 | 平成30年2月1日～平成30年2月16日 |

3. 回収結果

- | | |
|-----------|-------------------|
| (1) 回収数 | 189件（回収率 72.1%） |
| (2) 有効回収数 | 189件（有効回収率 72.1%） |
| うち 男性 | : 53件（28.0%） |
| 女性 | : 114件（60.3%） |
| 無回答 | : 22件（11.6%） |

4. 報告書の見方

- (1) グラフの数値の単位は%である。集計は小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

平成30年3月

美作市役所 市民部 くらし安全課

〒707-8501 岡山県美作市栄町 38-2

TEL : 0868-72-5202 FAX : 0868-72-8091 E-Mail : kurashi@city.mimasaka.lg.jp